



茶の湯体験学習

小学6年生対象

目標

千利休生誕の地・堺に育つ子どもたちが「茶の湯」を体験することを通して、伝統・文化を尊重する態度を育成するとともに、茶道において大切にされている「もてなしの心」や人とのかかわり方を学び、豊かな心や人間性をはぐくむ。

プログラム概要

- ① 茶の湯体験学習(1)「茶の湯を知ろう！」
 - ・学年合同にて講師の方から茶の湯について話を聞く
 - ・各クラスに分かれて茶の湯の基本を体験する
- ② 茶の湯体験学習(2)「お茶を自分でたててみよう！」
 - ・茶の湯ビデオを見る
 - ・お茶の心を学びながら作法を学ぶ
 - ・お茶を自分でたてて味わう
- ③ 振り返り

授業時間数

5～6時間

外部講師 教育資源の活用

「子ども堺学」のポータルサイトを活用する。
茶の湯講師

主な教科等 関連教科等

主となる教科等:総合的な学習
関連教科等:道徳、社会科

他の分野への応用

「子ども堺学」 ポータルサイトの活用

[トップ](#) → [教員ページ](#)

<http://sd.sakai.ed.jp/>

学習の流れ

①茶の湯体験学習(1)「茶の湯を知ろう！」～講師から話を聞く

《授業の概要》

学年が合同で、茶の湯について講師の方から話を聞く。講師の方からデモンストレーション。可能ならばビデオを活用する。

②茶の湯体験学習(2)「茶の湯を知ろう！」～体験する

《授業の概要》

クラスに分かれて、茶の湯体験を行う。お辞儀のしかた「真・行・草」、お菓子のいただき方、お茶のいただき方を学び、実際に体験してみる。

③茶の湯体験学習②「お茶を自分でたててみよう！」

《授業の概要》

「茶の湯のこころ」のビデオを見て茶の湯のこころを学びながら、茶の湯、お菓子のいただき方について学ぶ。最後に、自分たちでお茶をたてて味わってみる。



ここがポイント 茶の湯では人との関わりが作法の基礎にあることから、お茶をいただくだけでなく、その心を味わい、学ぶことが重要となる。茶の湯のもつおもてなし文化(CHA 文化)は日本の伝統文化として長く息づいていることを学ぶ。

④振り返り

《授業の概要》

茶の湯体験を通して感じたことをグループで話し合い、グループで出た意見を全体で発表する。個人では、感想文を書く。